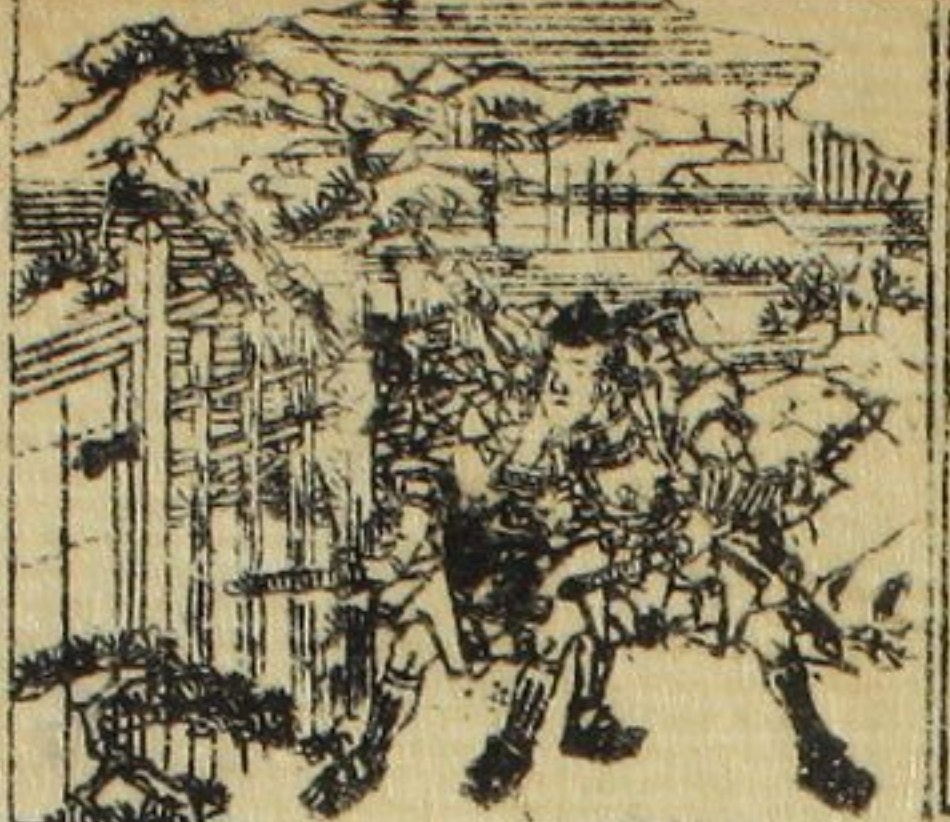


頭書  
講釋

金鶴きんかく狀じやう揃ぞろ  
全ぜん



曾我狀は返状



今月廿八日

富士野の狩場

赤陣曾我十郎

祐成に弟時致

巧謀殺押寄

取赤陣伊豆

今月了俊良是

仲秋制親條

一 不知文道之良道

一 終不得諸利事

一 好轉存道遠樂

一 益殺生事



國領人及在處  
射法短促而固

任人古備文王  
友內殺害之

甚以弄怪次  
才之仍此諸戰

其方此統令兒  
小次希命身深

師坊日心之各  
有之固不迴

時且之在百進

地也仍而執達  
如件

建之固年六月曾  
事之系時

昔我古身及  
同返狀

去晦日也教書  
今月一日而來

漢白格之任也  
抑小次希命深

坊也古身及小次

一 小也軍不遂孔明

一 令所死飛車

一 大科案乃具負

一 沙法攻有他人

一 命民令沒倒神社

一 極業祀事

一 先祖之山底古塔

一 破壞莊私宅事

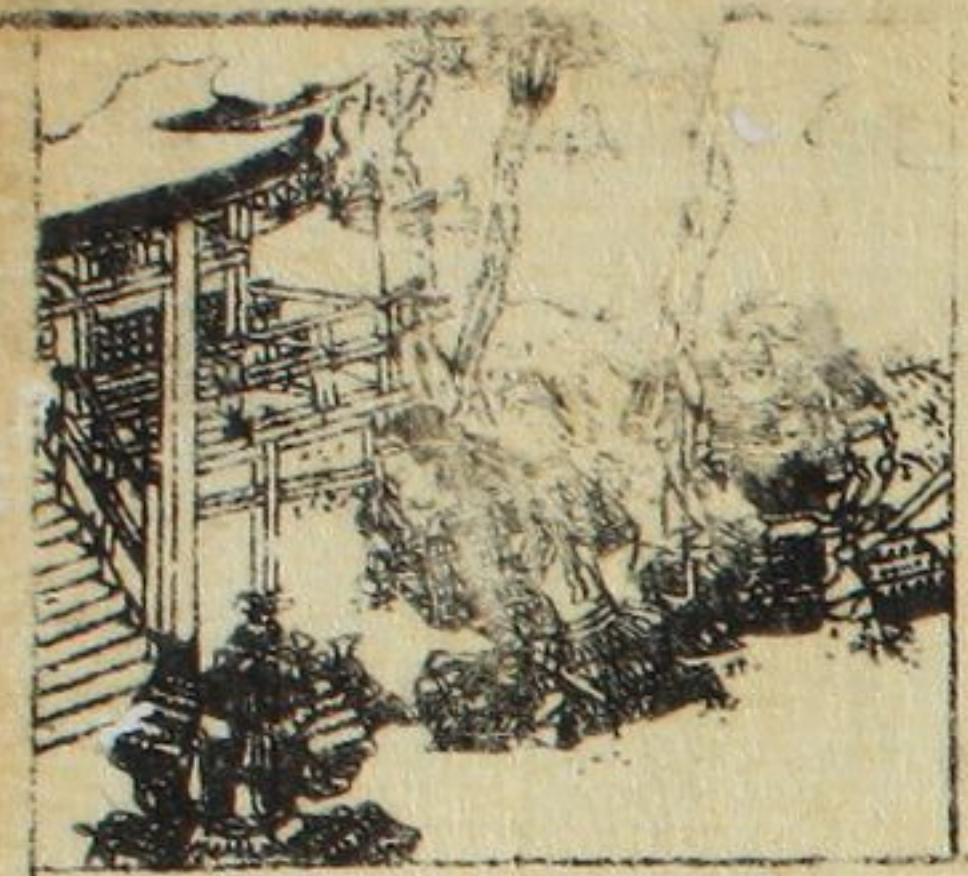
一 君父命也忍令忘却

一 忠孝慢事

一 桓公勢重私用

一 不忠天道傲事

帝志系於君位  
 心承及以格  
 以帝使若言  
 祥師坊名流人  
 間不及言進  
 以此有能  
 六月六日  
 曾我右卿  
 某



進上  
 權承平殿  
 本會義仲殿  
 常命頂禮  
 情大菩薩日  
 攝朝廷  
 素世明君

一不存後下首  
 一不正貴爵事  
 一我如知後下  
 一又可为因前  
 一合道礼而親  
 一人慈樂身事

一失他人理  
 一不不知身  
 一過合或  
 一嫌賢臣  
 一技非方

暑祖也為  
室神也利養生  
取之月之令容  
排之所之檢康  
家頂年之來者  
平相照老後飲  
四海揚孔万民  
是之佛法之悲  
王法之教之資仲  
首生弓馬之家  
終德其采之香

素彼暴惡之能  
願思盡任運於  
天道地有於四  
家賦記義兵  
欲追凶徒檢圖  
我法合也如之  
陣士卒未以殺  
勇伯速之而个  
一陣卷旗如戰  
揚忽祥之所和  
先社權機威純

一 非道而之  
一 踏之義教不苛  
一 長酒宴遊無  
一 負忘家職事  
一 迷已利根  
一 物比人奉

一 人來則攝虛病  
一 不能對面奉  
一 好獨味不能施  
一 人令隱居奉  
一 或具衣裝已  
一 而下以人奉

魏之西院陳載  
無終欽岳之液  
翻酒仙深肝枕  
中曾父前隆矣  
古義教附身  
宗廟民族自辨  
名於播弄系策  
為其系若否不  
歸教者仲也  
亂傾首事之紀  
洪大四壁也嬰

史龔剛巨海怒  
捕婦弁重軍  
仇為國為君紀  
之全乃為的報  
勿不紀之志至  
神感古事通非  
悅我仗願真於  
加威靈神方決  
情一時也怒口方  
猶在丹新叶室  
其其成也後定

一出家沙門尤以孝  
崇亦可正孔教事  
一貴族不存國是  
道理位安樂事  
一於分國之法國之  
於此遷旅人奉

存山帝者六社掛人可  
馬合我博日奉表士乃  
不稱之回考言社執以儀道  
也先守國事也學高而  
不成就政道之名事事徒  
外軍也奉表於抗初力之

使見一獨相率

源義仲

教白

壽永三年十月廿

補正成於橋井

宿禰子正行

初戒一條

某今方討死

之下其後

據せん終り

家と云ふ命と物



のん為に彼

弟とて父の生

乃志烈に捨

うは玉に碎けて

をそむれを政

めは竹を擡ぐ

の其言に毀

時相付た心業條初為友不  
有降順水他者為美人依  
首為友之業實心是治  
事獲之老賢仁念及也  
司君好使人心結王欲和若  
分全之老老業何知謂口有

之我無心老慈好誘已友  
好者我朋也人業念之但初  
云逆法勿擡在人老只不可  
老為友之謂事一能言之固  
一那身為老荒人老老教之若乃  
能成能也其言其言其言

とて海に  
ありて其為  
小一法を  
人々を附  
るるへ初  
来るとも  
人降る不  
の法は六  
教を此を  
て教を

毛何をも  
留まらば  
とせり  
上の射  
後めり  
改有る  
と後より  
孝行乃  
べし連  
り水魚  
ひとあ

今我を掛  
将多を  
悪者貴  
長津北  
已正行  
二種を  
日長又  
略と  
披然眉  
坑能人  
任古入  
為立人

下を乃  
命民深  
歎悲  
皆口  
下之  
法沙  
日之如



代りて憐れむ  
都の子弟は  
杖助するの父  
かまらぬに  
自ら富むる  
後ふ事なき  
人いぬに  
徳を教むる  
命を救ふる  
天下此の事  
今を以て

和田慈地  
父に  
あの子に  
命を  
家文  
か  
能  
字  
す  
精  
忽

照法系年國去近習亦升  
振山海空乃隔之被余道  
昼夜也悲思得在魚  
隨主人之居在乃待得既  
吾智也安多今由以在  
下事也信批判口多之

唯仏乃救死生乃復死  
外此演法法律律不  
捨文多乃活事仁我  
礼智仁一測之危上改乃仍  
死志也人恨構非儀今死  
罪初其款淨法之因果

はるゝと終栗  
あり

樹徳書

文武の名実を  
るに似れんを  
そ実儀ハ一撰  
たり 能ハあり  
流とのあり  
活る時政道に  
もと文とい  
礼進る徳行に

しきと成と云  
動と勝と赫  
あると水とい  
がまじはれ違  
所と一と極と  
受身と常と  
のハ君と臣  
みよると文  
たり成とたる  
るのるれなり  
これ近代事

不亦道と科才一忠不  
能方知身と名實符の考要  
也名益之儀操私用与馬  
之道意或用不枝持教  
米宛訂取原と珍と法家  
人自少親知の分随と相

遠其財儀之人行操威  
勢多中と既生と知名我  
道家法取不持禁と不  
恥不中と和儀倫可の情  
次身也仍徳書書如件  
永享元年九月十日

上に仁徳と

君かく中

忠懐の風俗

てよ下達礼の

りに苦の心

此時よきて人

間虎狼の心

たうて親の教

とたうて文の

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

味方とあるを

初巻のしるし

右の巻は

其故は

之時は

少くは

具は

打物

古は

史は

事は

身は

後

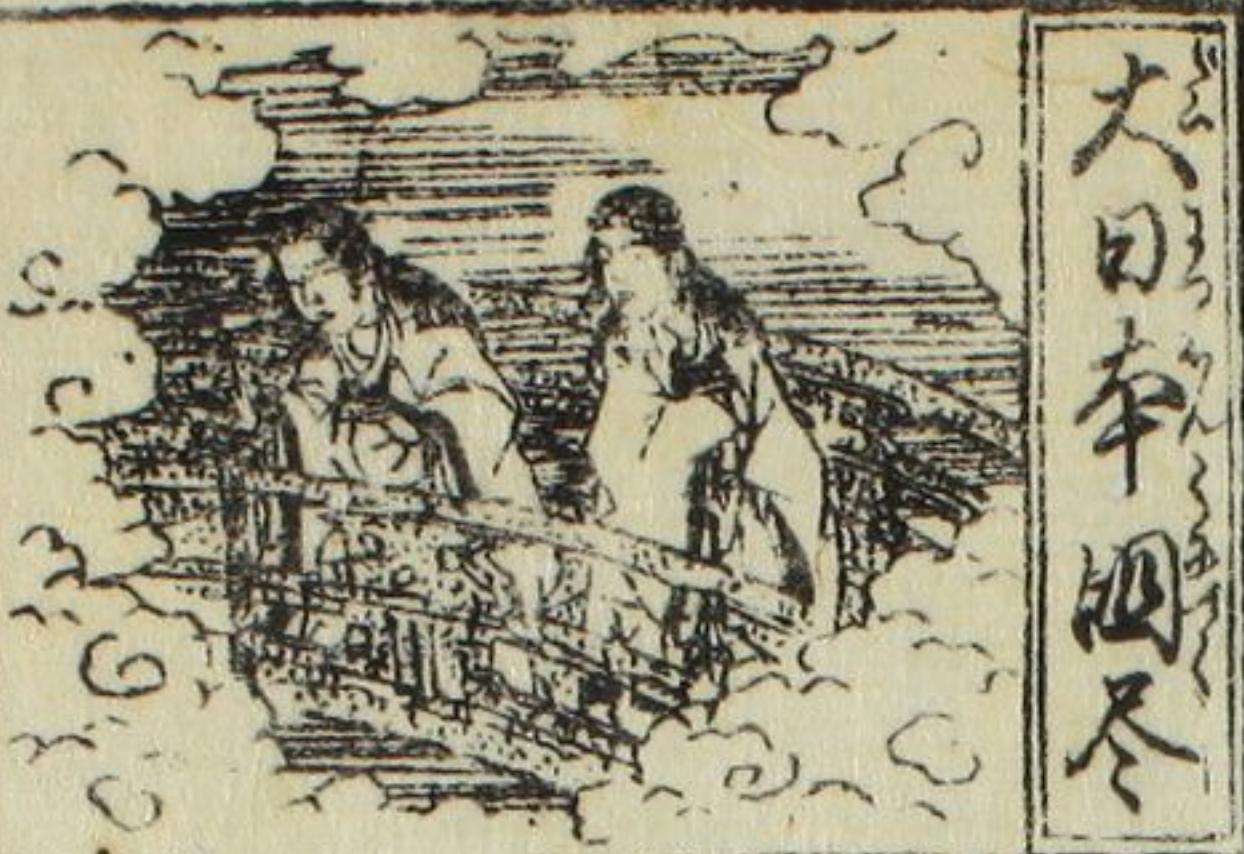
公熱時...  
に身と...  
て公...  
祖の名と...  
へう...  
こ...  
初...  
怨...  
ま...  
へ...  
る...

不...  
智...  
わ...  
大...  
と...  
し...  
一...  
へ...  
あ...  
天...  
脚...

之...  
学...  
打...  
不...  
力...  
青...  
七...  
亦...  
汁...  
年...  
推...  
練...

七...  
亦...  
汁...  
年...  
推...  
練...

ても見ての人  
不顔るその心  
天道威と如伴  
神拵渡して死  
小成るその心  
我の心を神  
受に後代の巻  
とんぎの心  
蔵文如神  
建武二年  
三月日



大日本国

八城内  
東海道  
伊賀

傳書集序の  
癸卯年  
九月日

修身之要  
五徳之学  
先立之業  
徳を以て  
徳を以て  
徳を以て



信前 信州 信前 九  
 信后 信州 安藝 八  
 周防 長門 六  
 南海道 六  
 紀伊 紀州 紀伊 二  
 阿波 阿波 阿波 七  
 伊豫 伊豫 伊豫 七



西海道 九  
 筑前 筑前 筑前 七  
 若前 若前 若前 七  
 肥前 肥前 肥前 七  
 日向 日向 日向 七  
 薩摩 薩摩 薩摩 七  
 二島 二島 二島 七  
 八尋掛刺 八尋掛刺 八尋掛刺 七

功在後家如動氣之回空沈  
 紀伊信案の言良業著者  
 言通身之云固然之紀伊者  
 之實否云之入種余中間能述  
 素之信之教為出内永有  
 指其教者肉目紀伊統統者

道地取物亦前世之業固不  
 然其業古也各言其業從之  
 非後世中故也名之如款何  
 業重衣憐業新物也似  
 述懷我從父有社藝者膚於  
 父母不沈翁時良長以教也

三十四	三十三	三十二	三十一
三十	二十九	二十八	二十七
二十六	二十五	二十四	二十三
二十二	二十一	二十	十九
十八	十七	十六	十五
十四	十三	十二	十一
十	九	八	七
六	五	四	三
二	一		

三十三	三十二	三十一	三十
二十九	二十八	二十七	二十六
二十三	二十二	二十一	二十
十九	十八	十七	十六
十四	十三	十二	十一
十	九	八	七
六	五	四	三
二	一		

三十三	三十二	三十一	三十
二十九	二十八	二十七	二十六
二十三	二十二	二十一	二十
十九	十八	十七	十六
十四	十三	十二	十一
十	九	八	七
六	五	四	三
二	一		

三十三	三十二	三十一	三十
二十九	二十八	二十七	二十六
二十三	二十二	二十一	二十
十九	十八	十七	十六
十四	十三	十二	十一
十	九	八	七
六	五	四	三
二	一		

六之辰...  
 一之辰...  
 二之辰...  
 三之辰...  
 四之辰...  
 五之辰...  
 六之辰...  
 七之辰...  
 八之辰...  
 九之辰...  
 十之辰...

男の... 威... 母... 懐... 中... 地... 勢...  
 和... 國... 字... 多... 那... 孫... 牧... 味... 本... 日... 序...  
 時... 夜... 女... 法... 以... 五... 甲... 斐... 渡... 存... 命...  
 京... 始... 經... 經... 難... 活... 間... 福... 走... 人... 海... 行...  
 在... 亦... 隱... 有... 柳... 堂... 古... 遠... 主... 之... 版...  
 仕... 七... 氏... 百... 州... 州... 亦... 後... 之... 事... 業... 考... 考... 勿... 能...

熱... 多... 乃... 追... 得... 年... 家... 之... 積... 令...  
 上... 洛... 子... 又... 名... 之... 海... 城... 古... 者... 孫...  
 仲... 後... 乃... 妻... 夫... 化... 生... 氏... 氏... 時... 成...  
 嚴... 石... 第... 孫... 孫... 乃... 為... 歡... 不... 顧... 亡...  
 命... 或... 明... 之... 漢... 大... 海... 漢... 國... 改...  
 痛... 沈... 沈... 乃... 乃... 海... 底... 掛... 龍... 於...



六三	六二	六一	六十	五十九	五十八	五十七	五十六	五十五	五十四	五十三	五十二	五十一	五十	四十九	四十八	四十七	四十六	四十五	四十四	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

七三	七二	七一	七十	六十九	六十八	六十七	六十六	六十五	六十四	六十三	六十二	六十一	六十	五十九	五十八	五十七	五十六	五十五	五十四	五十三	五十二	五十一	五十	四十九	四十八	四十七	四十六	四十五	四十四	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

八三	八二	八一	八十	七十九	七十八	七十七	七十六	七十五	七十四	七十三	七十二	七十一	七十	六十九	六十八	六十七	六十六	六十五	六十四	六十三	六十二	六十一	六十	五十九	五十八	五十七	五十六	五十五	五十四	五十三	五十二	五十一	五十	四十九	四十八	四十七	四十六	四十五	四十四	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

録叙總如也花田中實の翁  
 業為上之海欽業位也  
 將煥亦亦位奉到後純  
 痛恨位位奉到後純  
 日奉位中實位位也  
 松七悲涼秋切園夜位位  
 位位位位位位位位位位

律平之靈平中實位位也  
 奉法修之日奉位位也  
 小之神位位位位位位  
 通之紀清之位位位位  
 我國之神位位位位位  
 不亦此化者位位位位

九之辰

九之辰... (numerical table)

Table with columns and rows of numbers, possibly representing a calendar or mathematical data.

見一九之辰

見一九之辰... (textual notes)

一節百二十九

十六

Table with multiple columns and rows of numbers and text.

十六

Vertical columns of large cursive Chinese calligraphy characters.

元曆二月廿日

進上因情守殿

義經會狀

後白拍義經末...

之者...

此用...

百九十九分と云ふ  
 此の九十九分と云ふ所は  
 女九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と

▲張二百五と  
 女九十九分

九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一

▲張二百五と  
 女九十九分  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ

九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一

▲張二百五と  
 女九十九分  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ  
 八十八分と云ふ

九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一
九	八	七	六	五	四	三	二	一

此の九十九分と云ふ所は  
 女九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と  
 九十九分と云ふ所と

其耳生捕大臣殿父子波  
 蘇欽服着貴靡字子育非  
 海上清波絶切欽授万曝  
 或野野野野野野野野  
 尚家五運撰也初運二  
 或野野野野野野野野

其耳生捕大臣殿父子波  
 蘇欽服着貴靡字子育非  
 海上清波絶切欽授万曝  
 或野野野野野野野野  
 尚家五運撰也初運二  
 或野野野野野野野野

其耳生捕大臣殿父子波  
 蘇欽服着貴靡字子育非  
 海上清波絶切欽授万曝  
 或野野野野野野野野  
 尚家五運撰也初運二  
 或野野野野野野野野

非世之...  
六十...  
田...

Table with 4 columns and 4 rows of numbers and characters.

非世之...  
六十...  
六十...

Table with 4 columns and 4 rows of numbers and characters.

非世之...  
七十...  
六十...

Table with 4 columns and 4 rows of numbers and characters.

非世之...  
八十...  
六十...

Table with 4 columns and 4 rows of numbers and characters.

非世之...  
九十...  
六十...

者之乃今生後世...  
鳩...  
文...  
進...  
西...  
寂...  
通

於若年之時...  
川...  
良...  
况...  
向...  
秘...  
探

拓六百年之...  
九十六...  
六...

...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...

百官名畫

大宰府 攝政大臣  
 左大臣 右大臣  
 内大臣 大納言  
 中納言 少納言  
 宰相 大舍人

本之元 大納言  
 采女 大納言  
 内舍人 大納言  
 左大臣 大納言  
 右大臣 大納言  
 勅符 大納言  
 采男 大納言



合朕為...  
 九...  
 本...  
 欲...  
 省...  
 遠...

遠...  
 省...  
 欲...  
 本...  
 九...  
 合...

典藥 掃帚 右馬 集人 囚獄 內膳 修理 大膳 右近 右系 中將 內紀

監物 義人 外記 中勢 武部 刑部 宮內 內膳 大學 典藥 親負

新日松老嗚呼下也子虎就  
 清眼人限於後子龍子雲  
 士交字轉勝芥代終宿追仗  
 收者信臣每乘約先德余策  
 秦師修仍考副相軍改宮苑  
 行軍冠下至南軍將子運強

一日片時子重如也子云播  
 可民有快勳為追冠年家  
 卒數万軍兵而城郭致向  
 之則非有身身又倍奉任夏  
 者凌卷天冬生載載雪言和  
 有深如法自轉銘翠雲

大式 大式 大式 大式 大式 大式 大式 大式  
少式 大式 大式 大式 大式 大式 大式 大式  
少進 大進 大進 大進 大進 大進 大進 大進  
令右 伊織 伊織 伊織 伊織 伊織 伊織 伊織  
雅樂 伊織 伊織 伊織 伊織 伊織 伊織 伊織  
左大史 市正 市正 市正 市正 市正 市正 市正  
主税 終 終 終 終 終 終 終  
東百箇名居 終 終 終 終 終 終 終 終  
左中 右中 右中 右中 右中 右中 右中 右中  
左中 右中 右中 右中 右中 右中 右中 右中  
中紀 左内 左内 左内 左内 左内 左内 左内

依波良智略物次美念  
初月は後日通河家  
波原掛袖紫糸居振高行  
終日成禁合兩重高式之邊  
幕所軍幕來物次已至  
頃美伏款達古中云之起梳  
余依送橋遠山後者念  
初日仍亦成身中兄弟不和  
秋物之隣結句如雪上霜  
減切切取手奉隨隨日付  
奉事更至言教先不減為  
者之集名初骨中口記蘇杜

古  
犬

男也 多門 自其 大取化 小取化 平学 丹弥 以弥 矢拓 多仲 行馬 物集女 大武 小武 典括 梅干 古似 藤子 森肉 茂本 林刑部 清記 叔殿

深了 武極 之尾 牧古 典礼 典如 卷欣 之弥 柔殿 求富 正意 依像 肥富 軍紀 司書 猪傾 首令 樓馬 申藝 一間多 森多 森摩 文内 織居

余年流海國在於都大條也  
 小路深也去依人及竊之時者  
 公二分于身持刺角午  
 二疣落沉于海我志守統  
 有并織塔滔服梅桑桑粉  
 亮教老然就中園身下也

村改爲文武二道在行身  
 程並明耀才韜名德乃  
 天子渴改北原之言踏漸  
 忠通秀折首身有安寄富  
 樞即分以款河爲樞由安  
 發少之種持進を板森道

古大



文庫 小源右  
 左源右 小源右  
 仲 奇 枅 枅  
 直 枅 枅  
 德也路 枅 枅  
 集之助 枅 枅  
 官門 宇 枅  
 男 依 丹 宮  
 秀 五 音 門  
 一 學 終

鮮不... 秀子... 俄老... 玄... 谷... 状...



永字... 道... 悉永...

運... 道... 林... 之... 有... 固...

古史

二一

永字法

側

勅

策

撥

永

趨

努

磔

十六

六

六

鳴

犀角

ノ

鐵城

門

二

浮

乙

乙

蟠

虫

乙

獅口

フ

心

連

鳳翅

今揚名乃天者故後世

有通留校人者其感

文漢家國法其日

然谷送狀

直實漢之言其為秦秦

今世天其兵其為政其神秦

會堪丹其無其欲決其負

幻俄其其歡思其地其意

勇其遠其秦其其權其其法其

電其其其其其其其其其其

時其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其



玉案

新月

垂針

手形化文

惜登清狀

何之通物

惟及家

位傳

生

白紙能存

人

切死丹

人

先

本

相

備

空

張

張

鳴却為情養由藝不復也

實遠漢生也

西翻兵初

天下

振集

夫板

名於西海

聖高

中

奉

不

痛

無

千五



何宗百史... 但此... 能切支丹耶... 河上儀... 清狀仍... 何... 實名... 本年... 町中...

信... 何... 本年... 町中...

先... 運... 何... 生... 常... 番... 河...

河... 化... 八... 今... 未... 死...

一何と申若何何  
 月分何日と何事切  
 十人存云を中手ま  
 去すくひつ本海赤子  
 何れお定用いそを  
 下布山い若生園在  
 和叙先祖性教者  
 將る活有公南無佛  
 人、兵立中机室四之  
 一河公儀様法友之  
 切丹不本或古浪人  
 杯、何、白哉考我



一宗本も代何を  
 有法状の紙を  
 若所存の同是近  
 大落住を  
 志、和改を  
 少者目括美教市  
 宣、か志方る相

傳取赤少実首同何風使  
 聞其者任任天能地多乃  
 任神若活感慈慈七百日  
 見彼死骸毛村多任天聖  
 回因任公不族肝并感波增  
 值後補作生の三系必海来

不毛即何若活非也辺奇  
 身其委委博人公つ風委  
 從控況也兵教、為和澤文若  
 今未其真何實其、若美演  
 宗原亦其深の只美海運の  
 高剛亦其永、其板後、若志

勤王の山を以て名付  
如阿波之難波生本

仕仕我我何等と云  
在在子地の時五方

力の五穀樹常海  
言力の後日有定

語状仍白也料  
来号 後人 推判

何查推及  
圓折子飛

一書不之既也



相判  
箱根河内所

京都之兵舎下  
河内所を以て遠古  
通其地を下に以て  
日一札仍也件

何町推及  
推判

万端波難入集後集家忠海

赤承承年二月書日 征盛

熱心次第及

大坂進状

今度乃斤相市云家敷

越後處不為同心割抱諸

浪人輩減用其其少不控

先年秀秋部下如由治給補

勅達不其浪を少角法集云

移時見此下法則志野食我切

精願出園園主追排諸重勢

善寺也如王捕面而幼業志

新形相性相射書

本姓 たまひ九フ

吉 五 一 五

六元 一元 六元之元是二元七元 八元所さなり

火性 たまひ九フ

吉 五 一 五

七元 一元 七元之元是八元 一元所さなり

七性 たまひ九フ

吉 五 一 五

六元 三元 六元之元は二元 二元之元は三元

水性 たまひ九フ

吉 五 一 五

木性 たまひ九フ

本流京北者大晴... 身其刻の利果... 夜涼お寝を回助... 佐和遠る人謀... 如後車後法... 威陽天改... 陣者部時... 不亦也... 慶長十九年... 大野の馬友... 同返状... 芳妻合...



無或梅馬  
芳而福  
未房邦色  
不麻火免  
俄右長南  
如加庫久  
九志菊玉  
龜秀止忠  
友右重理  
長濂利二  
六貞治松  
西中竹林

惟於秋松之  
德父大國秀  
天平相波之  
救世之紀情  
有物法慶步  
少補身之必  
不運家之奉  
足安清之刻  
何切少之加  
素書之傳  
厚其秀之教  
孰今之父母

一伊友虎  
和乙由恒  
好水清依  
精田若千  
宗甚作次  
十都光政  
招秋石晴  
穢若種新

孰今之父母  
厚其秀之教  
素書之傳  
何切少之加  
足安清之刻  
不運家之奉  
有物法慶步  
救世之紀情  
天平相波之  
德父大國秀  
惟於秋松之

偏冠攝字

イリシハ七十才  
和才才己才月  
子才才中才女  
才才才才才才才  
田才目才中才  
目才才才才才  
才才南才才才  
才才才才才才  
田口山才才才  
才才才才才才  
才才才才才才  
八才才見才才

一國一城為一法日本切書

道心獲作之靈酒家之

者父子之義命亦若者

也於期我之會也後之

秀才

秀才

